

根来山げんきの森倶楽部

令和5年8月作業日誌

活動日：令和5年8月20日(日) 9:30～15:30 天気：晴れ 倶楽部員：48人

今月の作業は倶楽部員48名に加え、近畿大学から24名の学生の皆さんがボランティア参加をしてくださいました。猛暑の中の過酷な作業でしたが、若い力のおかげで力作業もはかどりました。

石垣積み

もみじ谷の歩道沿いにある石垣が先日の大雨や長年の老朽によって一部崩壊しています。歩道が崩れそうになっている箇所もあり危険なので、石垣の補修作業を行いました。

現地に着いて初めて現状を確認したのですが、石積みは2、3mくらいの幅で下まで崩れ落ちおちていて、なかなか大変そうな状況です。こうなったら崩れた石と土をいったんすべて取り除いたうえで一から積み直さなければならず、かなりの仕事量になりそうです。

しかしながら今回の活動には近大の学生が参加してくれて、しかも自ら志願して重労働を買って出た学生ばかりだったので非常にはかどりと、あっという間に石を除けて土を運び出す作業が終わりました。

続いて地盤を固めながら一段目から石を積み直していたのですが、その矢先に積み始めた部分の上方の斜面がさらに崩れてきて積みかけた石も土に埋まってしまう、またしても土を取り除く作業からやり直しとなりました。一同がっかり。

それでも元気な学生たちが土砂を掻き出しては運んでくれたおかげでなんとか復旧し、あらためて石を積み始めたところでこの日の作業は終了。続きはまた次回です。

現場は日陰なので割と楽かと予想していたのですが、湿度が高く蒸し暑くて過酷な作業になりました。汗だくになって泥まみれになりながら作業に携わった皆さん、おつかれさまでした。(古澤 祐史)



炭焼き

今回の作業は各4名で滞っていた炭材、薪置き場の整理でした。床面の更地〜クズ炭撒き・整地〜パネル置き〜炭材の移動等でした。暑い中、汗に塗れながらのキツイ仕事でしたが予想以上の進捗を無事に終え安堵しています。特に決して若いとは言えない女性陣の奮戦に敬意を表します。それから昼休みに振舞われた冷えたには感謝しています。 (西 勝信)



うるし谷整備

メンバー6人+近代実習生5人で活動
先の台風の強風により道を塞ぐ形で横たわる倒木の処理を行いました。
太さは20cm強、チェーンソーでの太いところの切断を行いながら各自手作業で太さによって仕分けして杭・枕木などの素材として加工・整理。
近代生は5人とも女性でノコギリの使用もほとんど無いメンバーだったが暑い中枝の処理を一生懸命やってくれました。
皆様お疲れ様でした。

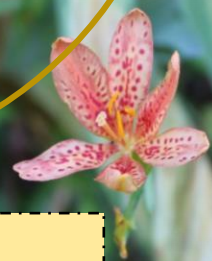
(MASATAKA TSUBAKI)

青木新道整備

6月2日の大雨と8月15日の台風7号で青木新道の階段が埋まってしまい、急な斜面状態になっていました。この階段の復旧作業をしました。近大社会奉仕実習の学生10名と倶楽部員4名での作業でした。各人が鍬を持ち、距離をおいて埋まっている段の発掘を始めました。並行して炭焼き場に積み上げている太短い杭と、横木にする檜木を体験棟脇まで運びました。持ち場の作業を終えて三々五々戻ってきたメンバーで短い杭を1/4に割り、横木を止める杭を作りました。

午後からは、横木がなくなっている段に横木を新しく置き、杭で止める作業です。下から始め、堰堤のあたりまで上ったところで終業しました。学生さんたちには、掛矢で杭を打つことはもちろん、鍬で土をかくの初めでだと思いましたが、結構作業がはかどりました。お疲れ様でした。

当日は、少し動いても異常に汗がふきだし、私の体調が不良なのかと思いましたが、最高気温37℃だったと知り納得しました。 (赤阪 進)



里山整備

Aさん、Oさんの指導のもとクラブ員6名、近大生4名で、先月の活動日に伐採したアラカシの後片付けを午前中に実施しました。斜面に大きな枝がそのままになっていた物を、巻き上げ機の付いた林内作業車を使って道路の上まで引き上げて、木炭にするために1m20cmの長さに揃える仕事です。

前回の伐採の時に今回作業するために高さ4メートル程の立木を残して、それに滑車を取り付けて斜面に落ちている枝にワイヤー巻き付けてウインチで引き上げました。木炭にする材料が40本程出来ました。

午後は斜面の下の方にあるアラカシの木の伐採を実施して、午前中と同様にウインチで道路まで引き上げて太い部分を1メートル程にカットしました。太い木は木炭には使えずピザ釜等の燃料に使うそうです。

今日は天気がすこぶる良くて非常に温度の高い日でした。全員水分を十分に取り、熱中症に注意しながら作業を実施しました。 (田屋 和之)



8月は20数名の近畿大学の学生のみなさんが活動日と26日土曜日と二日にわたりボランティアに来てくださいました。

今年の作業場所はおみじ谷と青木新道。梅雨の豪雨でもみじ谷の石積の護岸が一部崩れてしまい、その復旧作業とそこから続く青木新道を久しぶりに手入れしました。

石垣積みは重さ30kg程もある石を積み上げるのですが、その前に荒れた川底にたまっている土砂をどけて整地しなければいけません。力持ちの学生さんたちの協力で何とか先が見えてきました。

青木新道もあちこちのステップに使っている木材が腐ったりイノシシに荒らされたりして荒れ放題だったので、彼らと一緒に整備してかなり歩きやすくなりました。また、歩いてみてください。

岡田 和久